

# 地方都市における時間消費型中心市街地の再構築

## — 歩行者・自転車のアクティビティ —

## 背景・目的 中心市街地活性化対策の必要性

### 中心市街地の衰退 — 絡み合う複合的要因

- ・モータリゼーションの進展
- ・人口や公共施設の郊外流出
- ・全国画一的な郊外への大店舗進出
- ・郊外の商業集積

→ **中心市街地活性化に向け対策が必要**



中心市街地に位置する様々な物販・サービス施設をつなぐ  
空間のあり方の把握と検討

→ **改善すべき課題・街路空間整備の効果**を明らかにする。

## 研究の流れ・検討のための3つの視点

### 資料調査

(管理規制の実態把握  
街路空間整備の現状)

行なわれている  
活動の実態

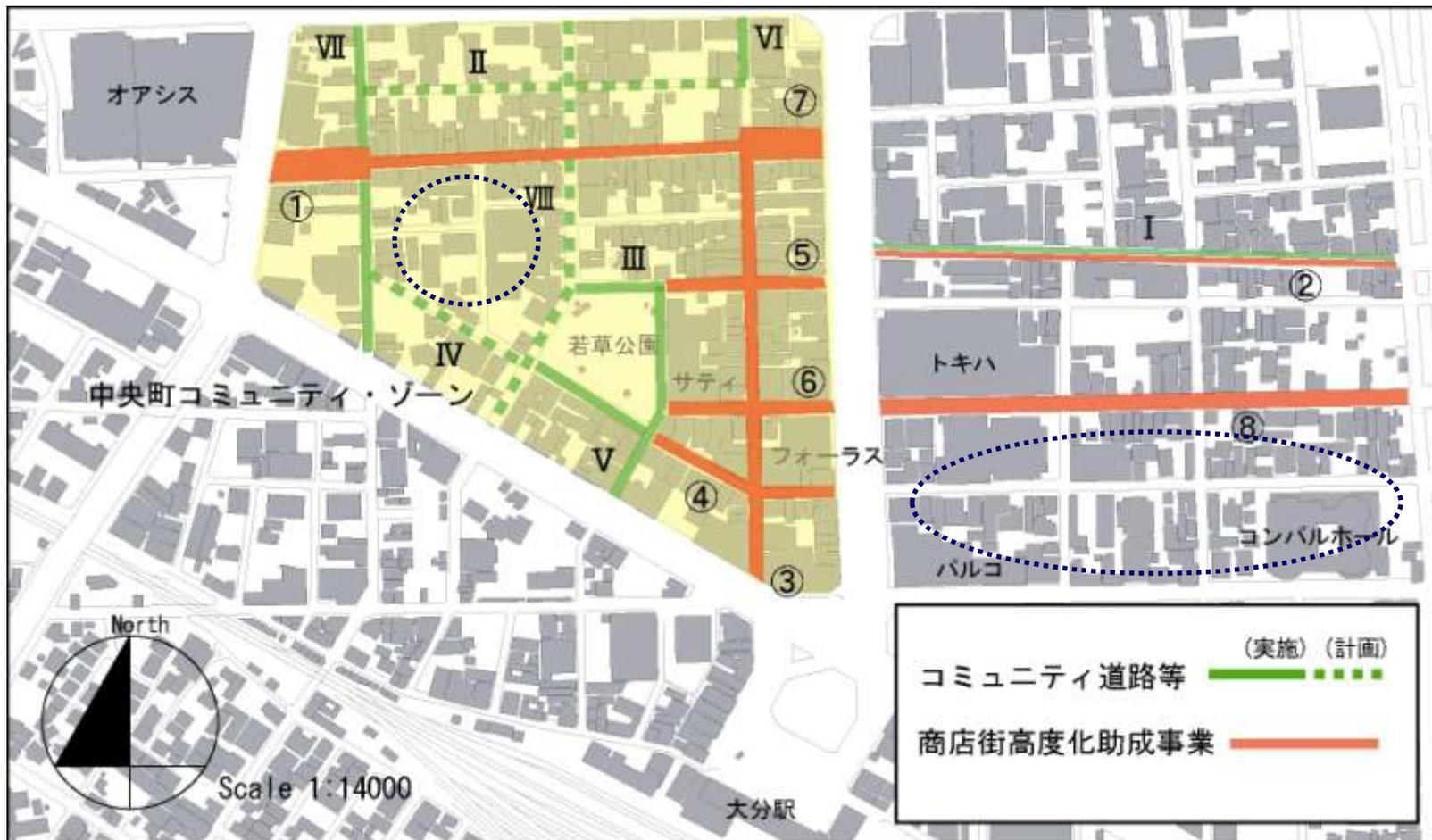
利用者に対する行動調査

管理・規制・  
整備の実態

利用者の  
意識の実態

アンケート調査

# 資料調査・歩道空間について・整備履歴



大分市中心部、歩行空間整備の状況(平成13年度3月末)

商店街や中央通りを外れた裏通りに対しては、ほとんど整備が行われていない。

## 利用者に対する行動調査

大分市中心部を対象に、  
道路空間内の特徴が異なるもの、  
平成11年11月に行われた、大分市中心部に対しての交通量調査に基づき、  
歩行者交通量が把握できる地域、  
などの条件に基づき**街区単位**で11地域、選定した。

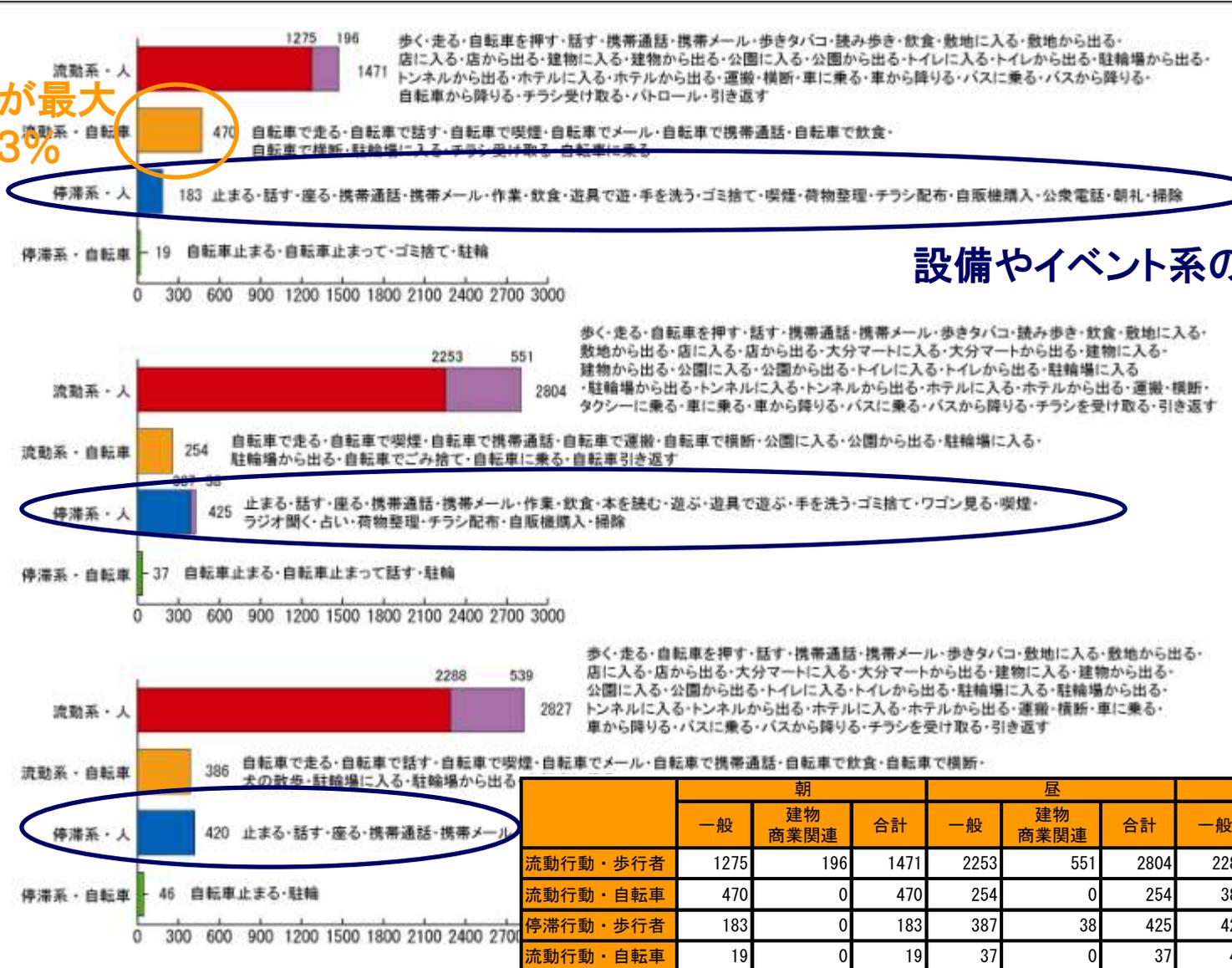
10月21日、26日、27日、28日、11月1日の9:00～18:15の期間に3回、  
朝方(8:00～9:15)、昼間(12:00～13:15)、夕方(17:00～18:15)の調査を行った。

調査は、  
最初の5分間で対象地域で行われた活動を抽出し、  
後半の10分間で、数人の計測者がそれぞれの担当に分かれて、計測を行う。



# 利用者に対する行動調査・対象地域全体

朝方が最大  
42.3%

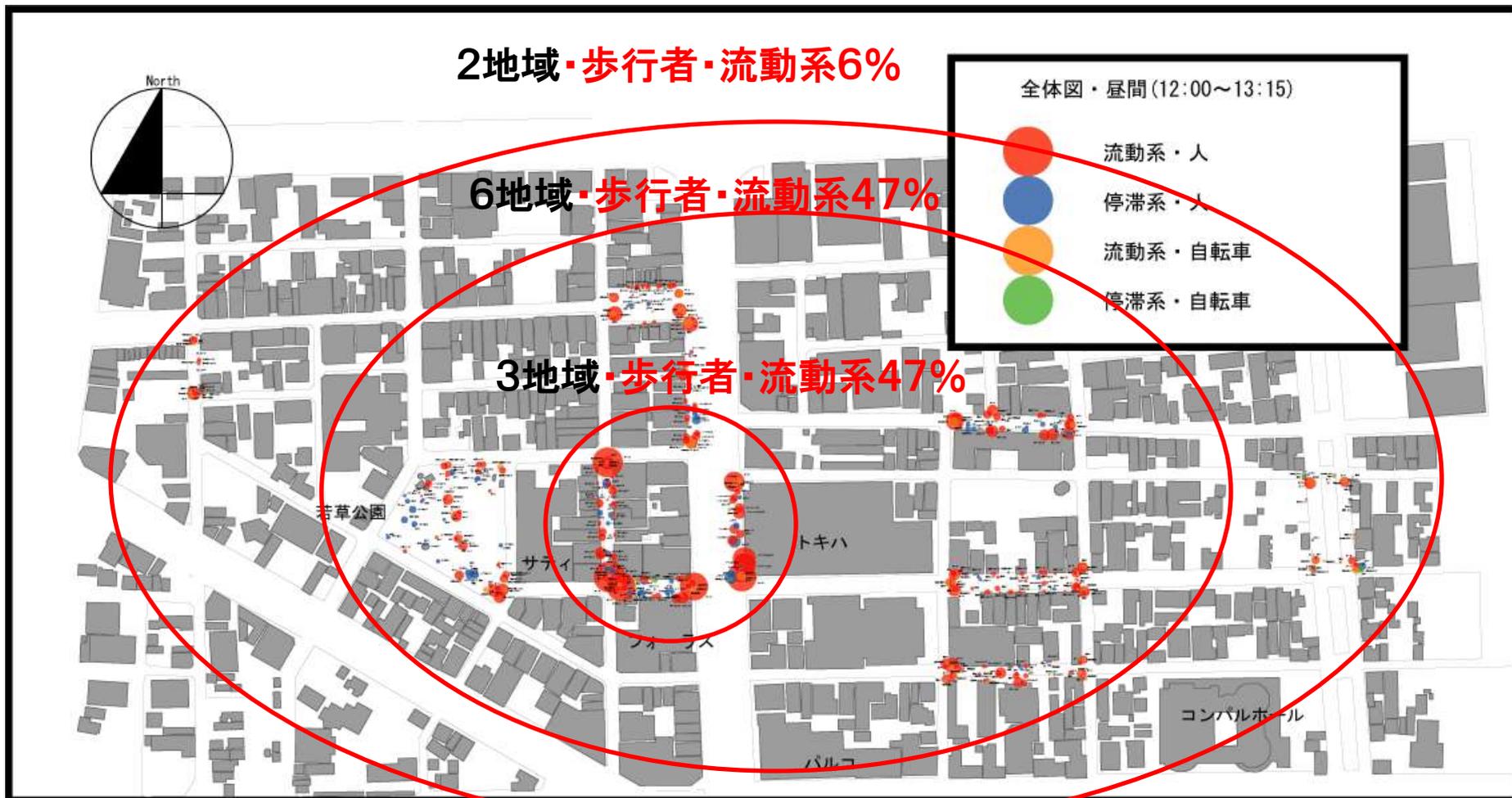


設備やイベント系の影響が大きい

77.2%

	朝			昼			夕方			合計
	一般	建物 商業関連	合計	一般	建物 商業関連	合計	一般	建物 商業関連	合計	
流動行動・歩行者	1275	196	1471	2253	551	2804	2288	539	2827	7102
流動行動・自転車	470	0	470	254	0	254	386	0	386	1110
停滞行動・歩行者	183	0	183	387	38	425	420	0	420	1028
流動行動・自転車	19	0	19	37	0	37	46	0	46	102

# 利用者に対する行動調査・対象地域全体・昼間



## 利用者に対するアンケート調査・アンケートについて

アンケートは、

「アンケート記入者について」

「中心市街地のアクセスについて」

「中心市街地の利用状況について」

「中央通りの歩行者天国(トランジットモール)実施について」

の4項目で構成されている。

中心市街地利用者を対象に面接調査法を用い、

9月の後半17日～23日、10:00～19:00までの期間で、

中央通りスクランブル交差点周辺で実施した。

サンプル目標は、平日・休日それぞれ200票を基準とした。

休日194票、平日200票のデータを取得することが出来た。

# 利用者に対するアンケート調査・行動予定

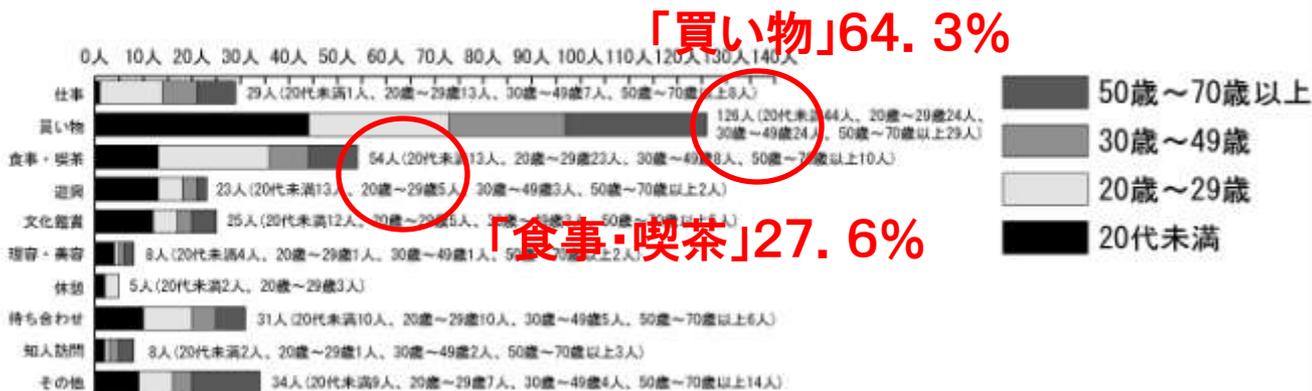


図4-25. 休日、行う予定の行動

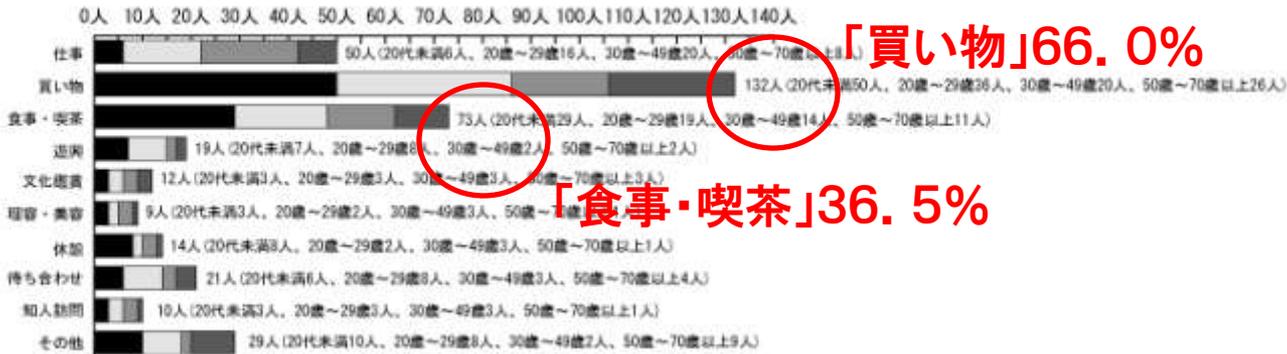
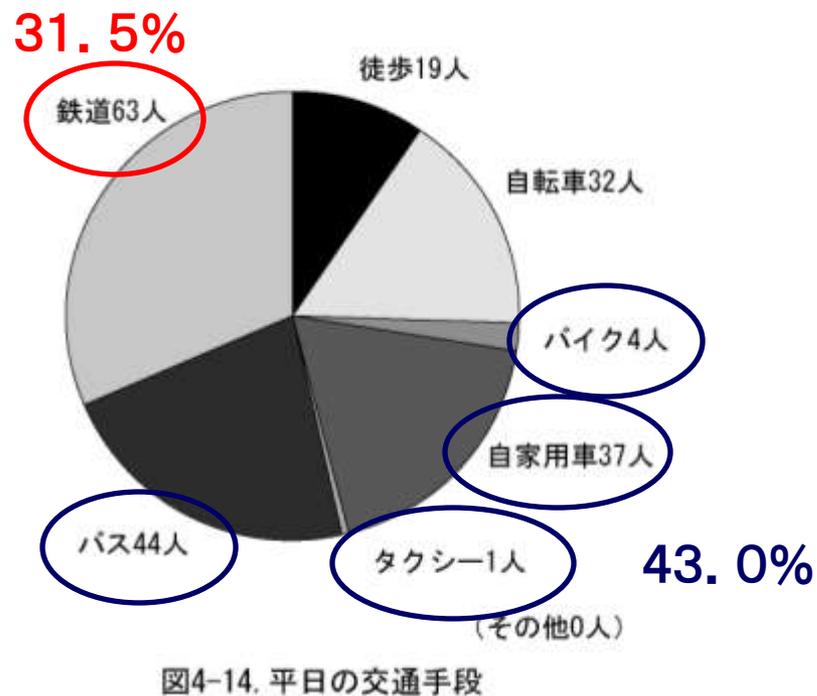
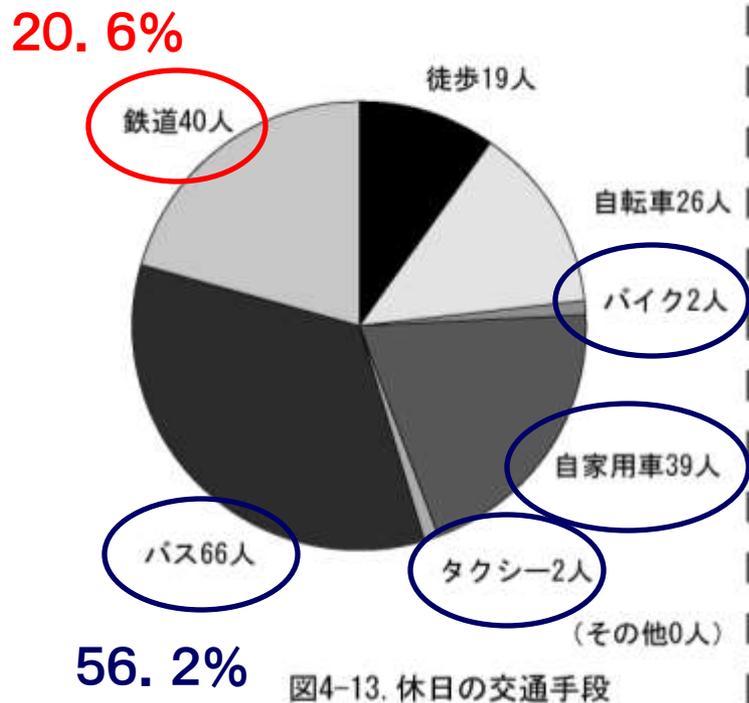


図4-26. 平日、行う予定の行動

65.2%の来街者が、「買い物」と回答している。

ついで32.1%の来街者は、「食事・喫茶」と回答している。

# 利用者に対するアンケート調査・交通手段



「自動車」・「バス」などの車系の利用が49.2%と約半数.

「鉄道」は26.0%.

# 利用者に対するアンケート調査・評価

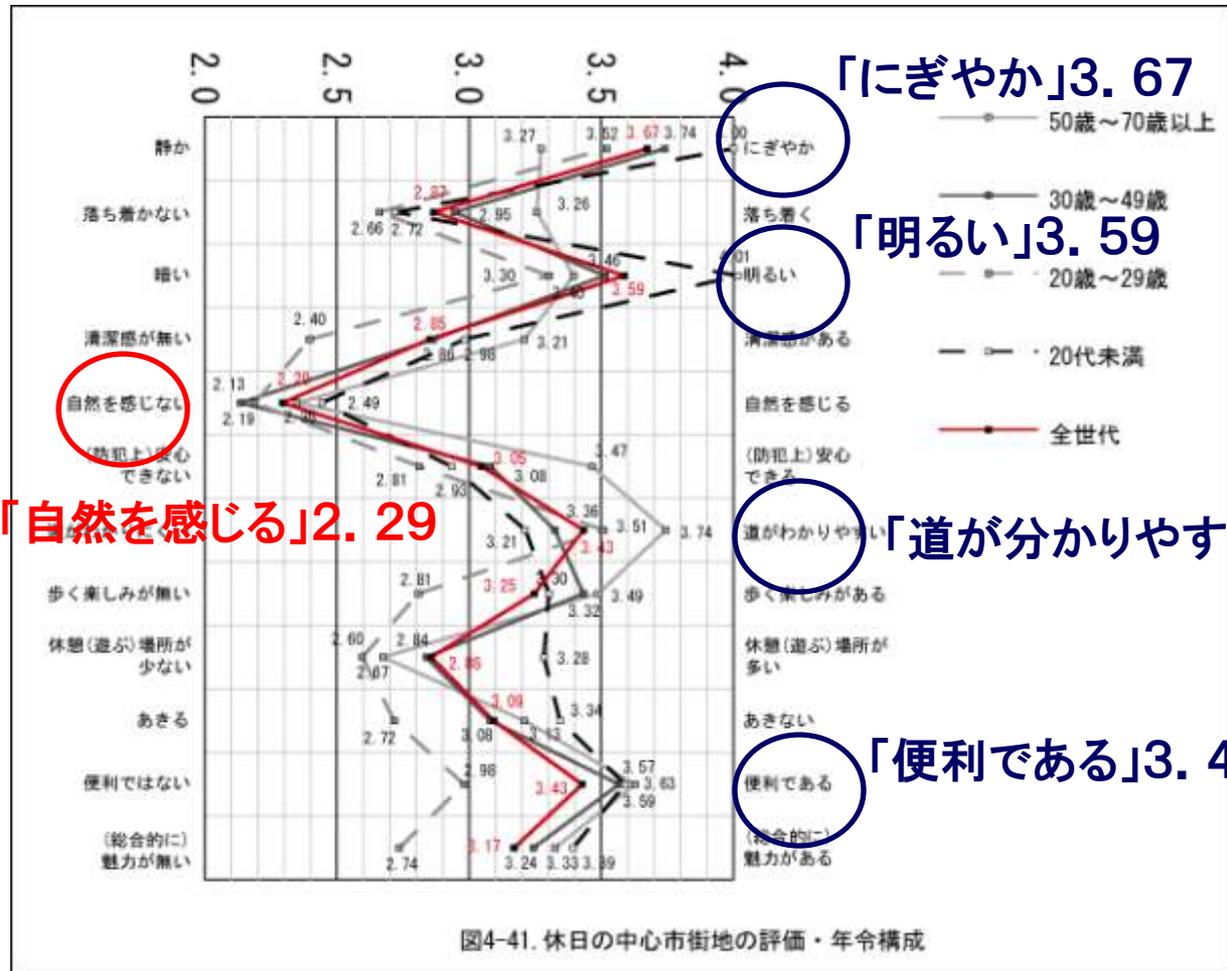


図4-41. 休日の中心市街地の評価・年齢構成

「にぎやか」・「明るい」・「道が分かりやすい」・「便利である」の評価が高く、  
 「自然を感じる」の評価が低い。

## 総括

大分市の現状は、整備などの実態からみると、中央通り周辺の整備が完了又は計画中の通りが多いものの、東側では十分な整備が行われているとはいえない。今後は、**東側とその連続性に対する配慮が重要である。**市民の意識においても、市街地に対して一定評価を与えているものの、多くのマイナスイメージがある。**それぞれの問題に則した対策**が必要である。市街地内でも、交通量・周辺の建物・イベント等により、行動は大きく変化するので、**よりそれぞれの現状に則した整備やイベントの手段を検討**しなければならない。

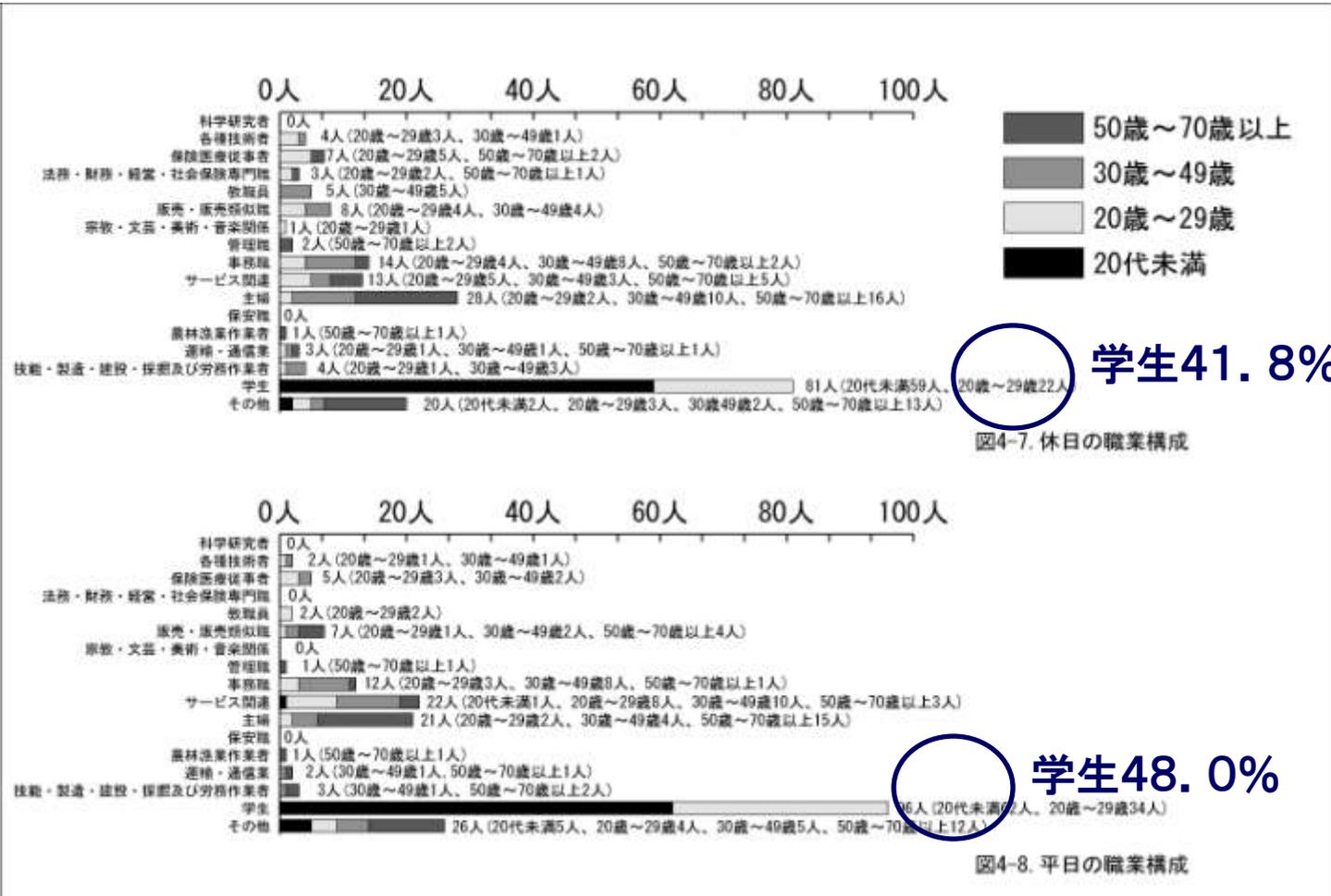
***end***

## 利用者に対する行動調査・調査地域の選定



選定敷地の一覧

# 利用者に対するアンケート調査・記入者について



# 利用者に対するアンケート調査・記入者について

0.31:0.69

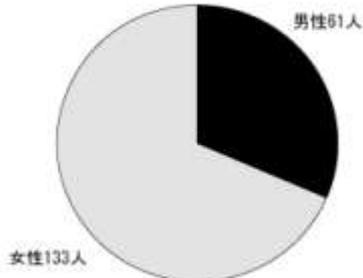


図4-1. 休日の性別

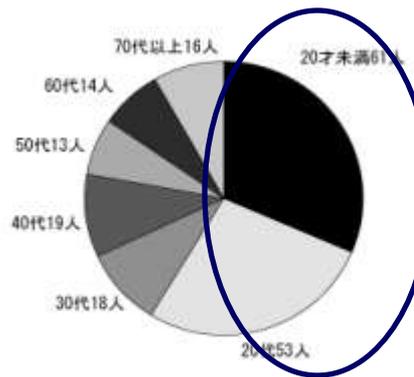


図4-2. 休日の年齢構成

「20歳未満」「20代」58.8%

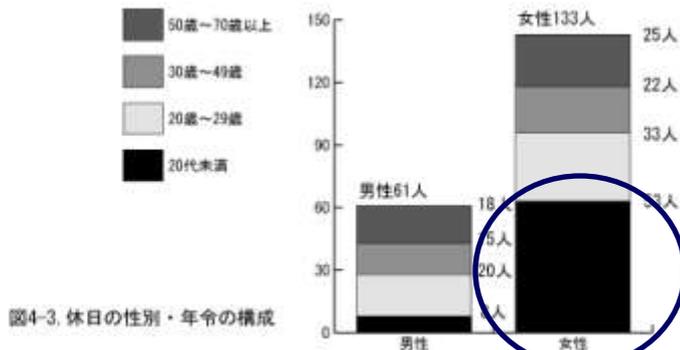


図4-3. 休日の性別・年齢の構成

「女性・20歳未満」39.8%

# 利用者に対するアンケート調査・記入者について

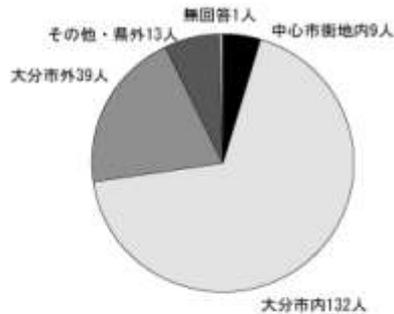


図4-9. 休日、住まいの地域

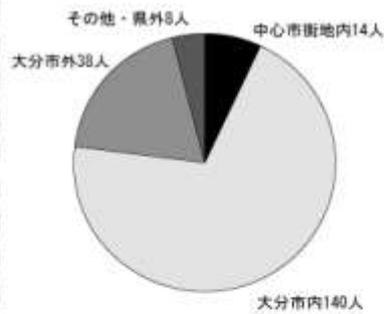


図4-10. 平日、住まいの地域

「大分市内」68.0%

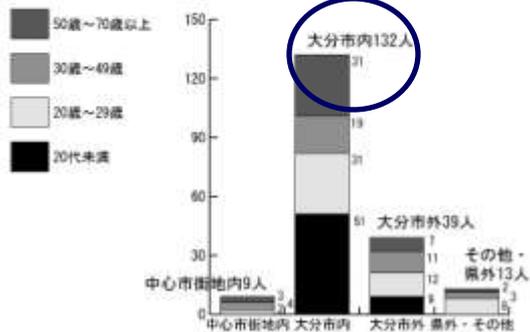


図4-11. 休日、住まいの地域年齢構成

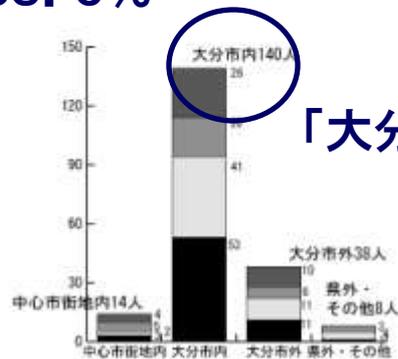
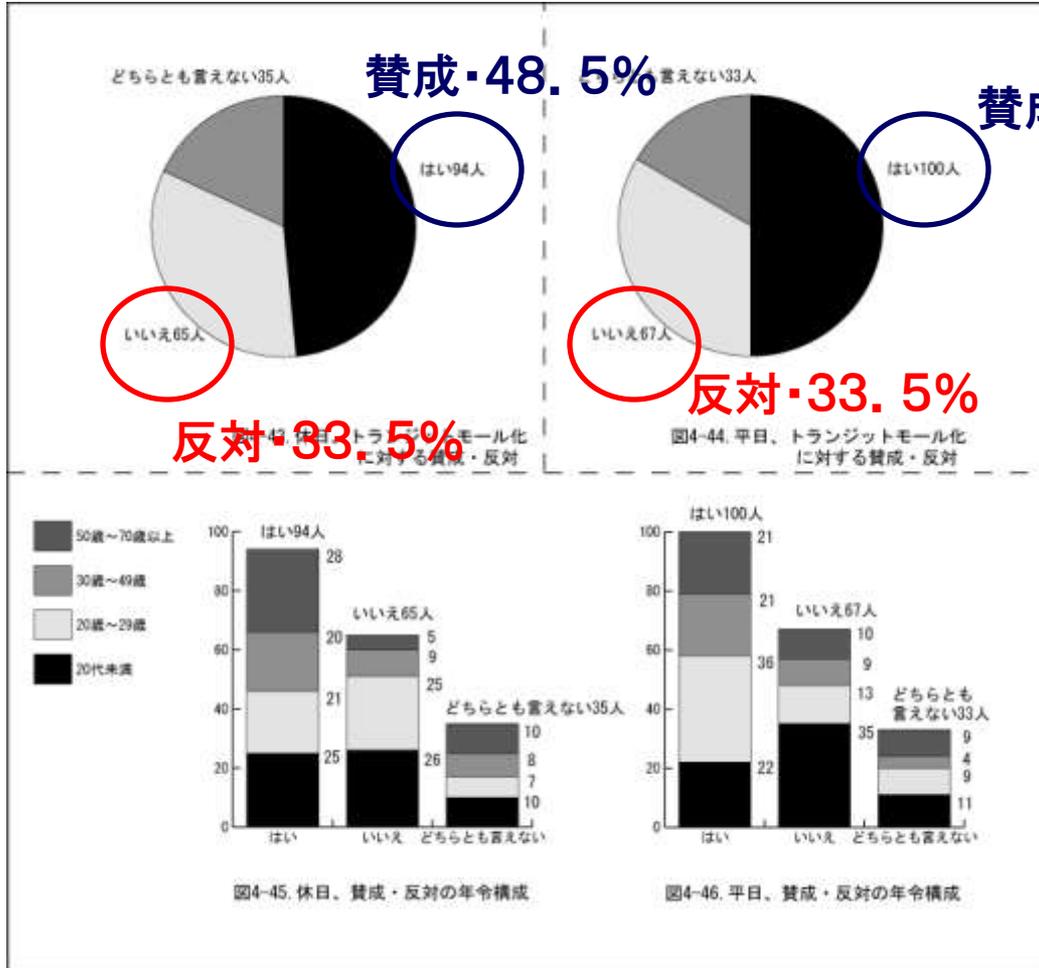


図4-12. 平日、住まいの地域年齢構成

「大分市内」70.0%

# 利用者に対するアンケート調査・賛成・反対



## 利用者に対するアンケート調査・滞在時間

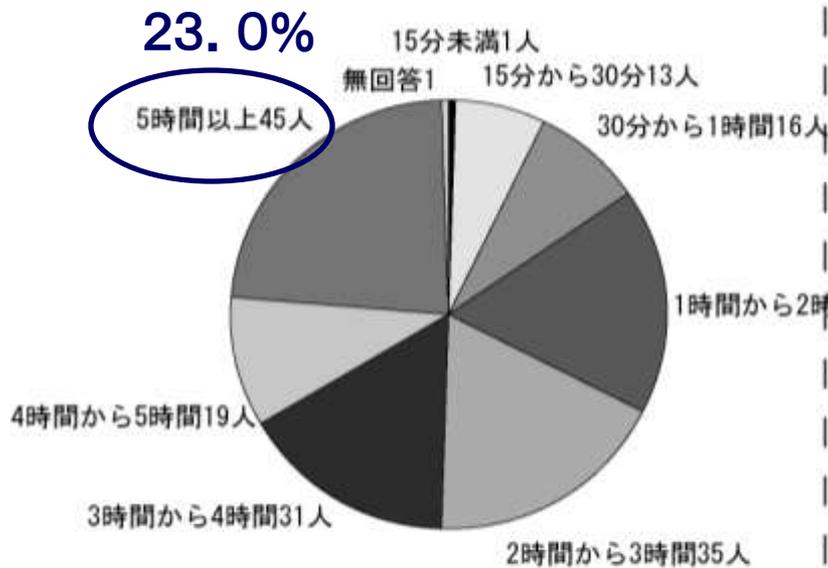


図4-27. 休日の滞在時間

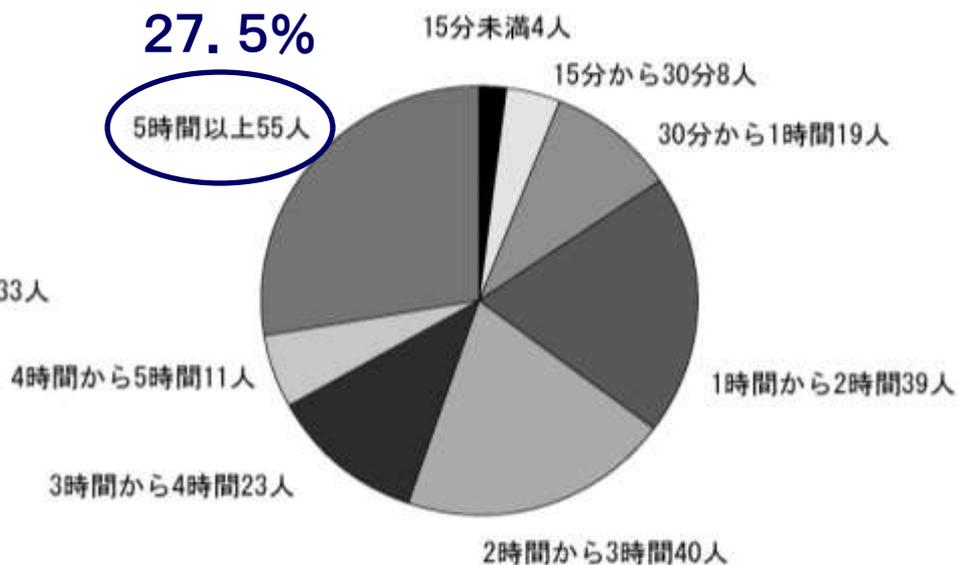
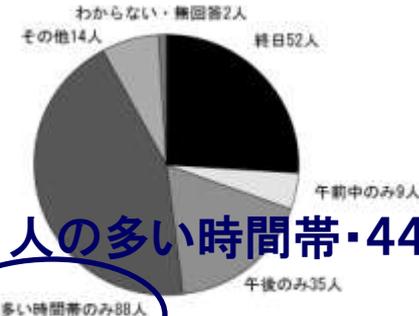
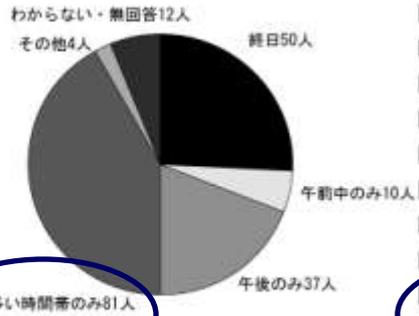


図4-28. 平日の滞在時間

「5時間以上」の長時間滞在者25.3%と最も多い。

# 利用者に対するアンケート調査・希望時間



人の多い時間帯・41.8%

人の多い時間帯・44.0%

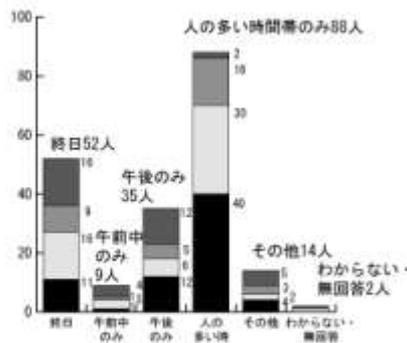
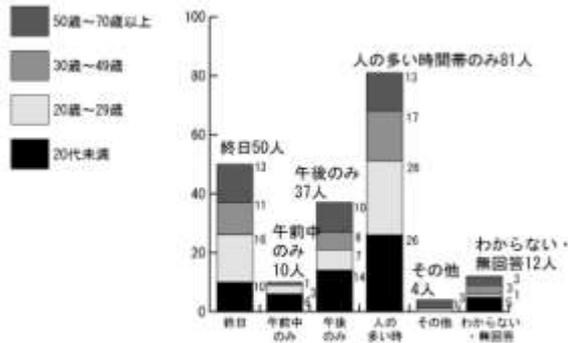
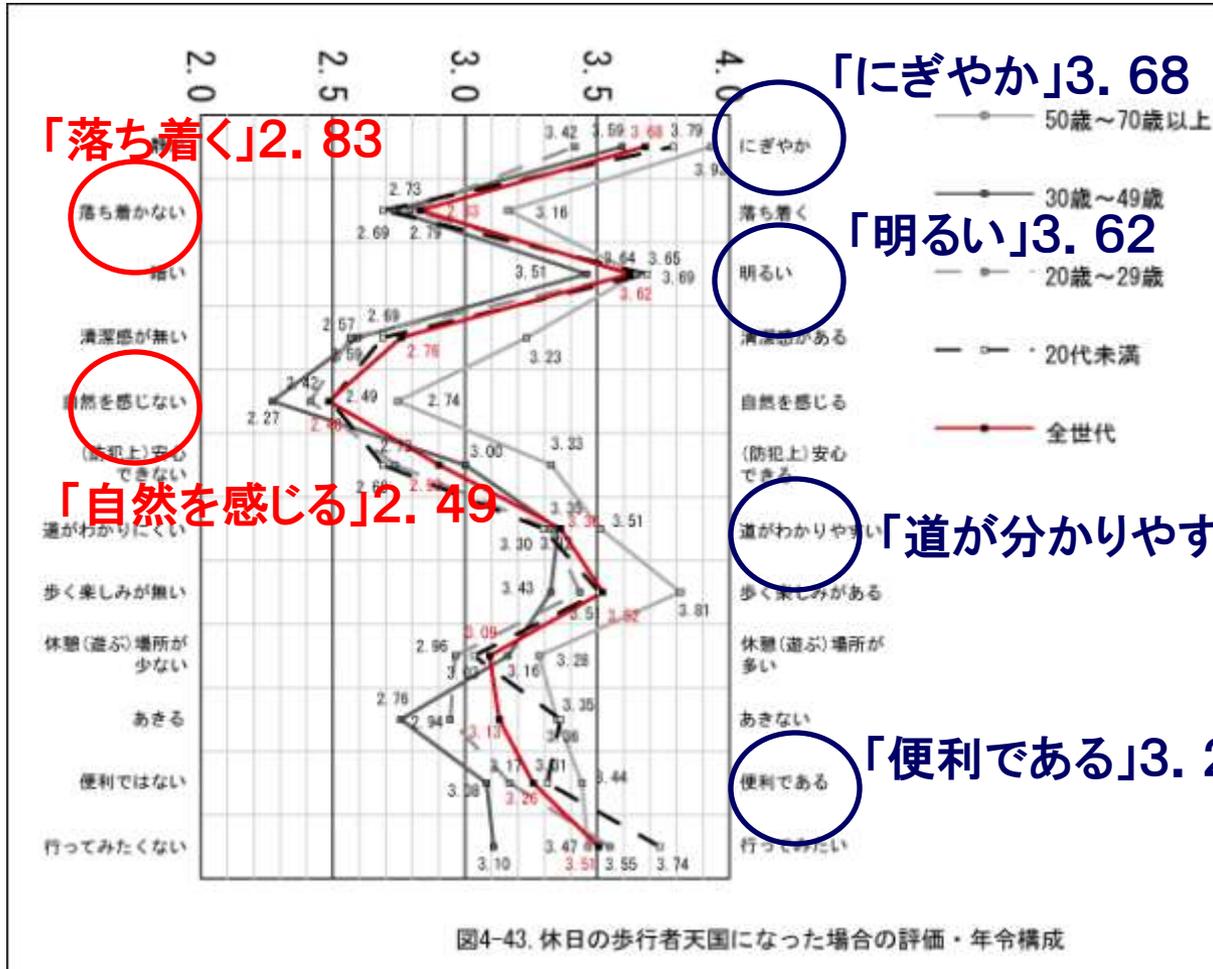


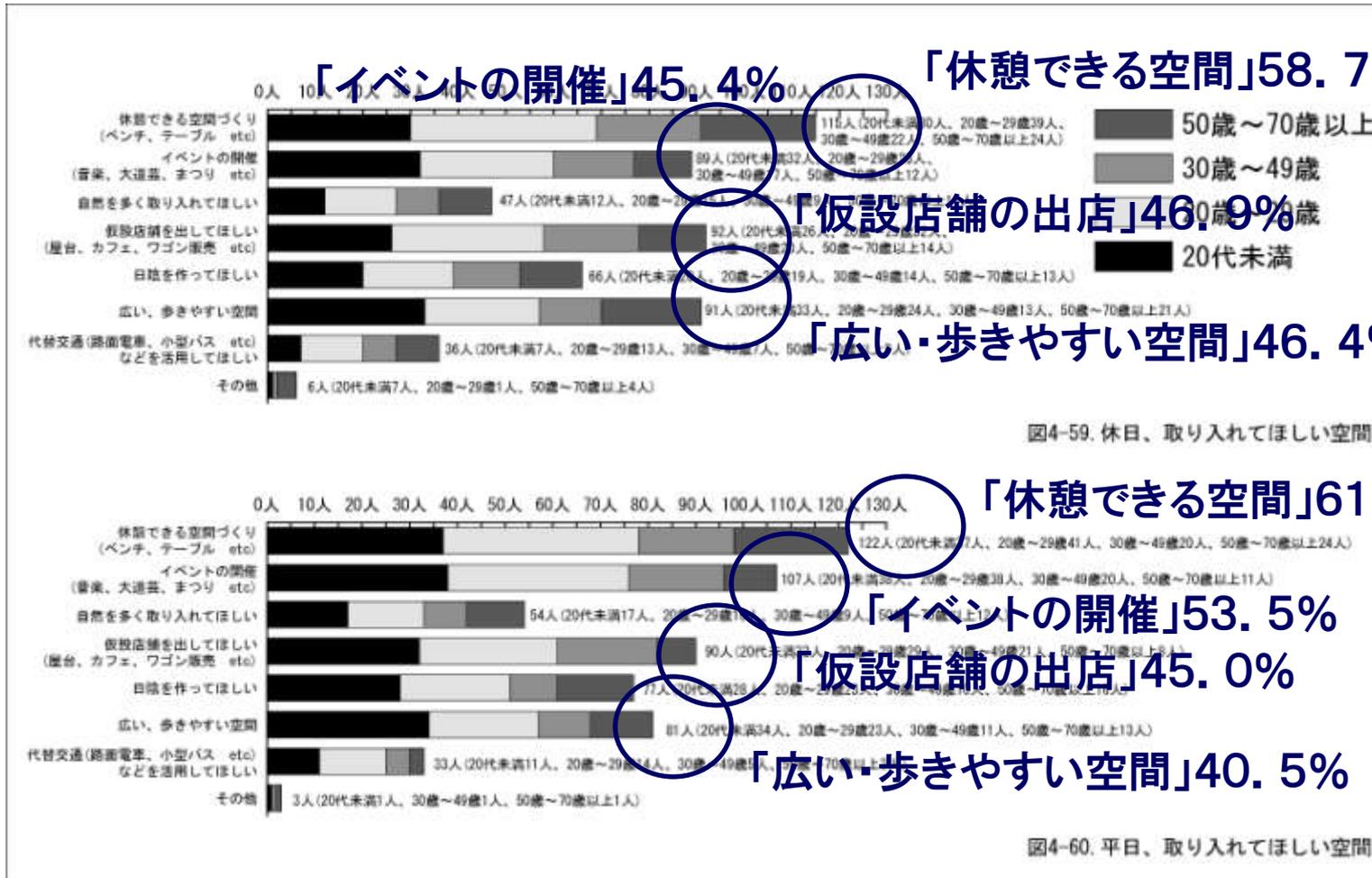
図4-57. 終日、住まいの地域年齢構成

図4-58. 平日、住まいの地域年齢構成

# 利用者に対するアンケート調査・歩行者天国について



# 利用者に対するアンケート調査・取り入れたい空間



「休憩できる空間」・「イベント開催」・「仮設店舗の出店」・「広い歩きやすい空間」と評価が高かった。